

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和7年1月10日

「ほるたま考古学セミナー 長竹遺跡―地中に埋もれた巨大遺跡―」と「里帰り展2024 ただいま!長竹遺跡の縄文展」を同時開催します

(同時発表:羽生記者クラブ、久喜記者クラブ、熊谷記者クラブ)

埼玉県教育委員会と公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団は、県民の埋蔵文化財に対する理解促進を目的として、様々な普及啓発事業を実施しています。その一環として、平成26年度から「ほるたま考古学セミナー」(※1)、令和4年度から「里帰り展」(※2)を開催しています。

令和6年度は加須市長竹遺跡^{ながたけ}をテーマとし、「ほるたま考古学セミナー 長竹遺跡―地中に埋もれた巨大遺跡―」、「里帰り展2024 ただいま!長竹遺跡の縄文展」と題し、いずれもご当地加須市の「パストラルかぞ」を会場に実施します。

1 会場及び会期

(1) 会場

パストラルかぞ(加須市上三俣2255)

※ほるたま考古学セミナー、里帰り展とも同じ会場

(2) 会期

ア ほるたま考古学セミナー(会場:小ホール、定員270名)

令和7年1月26日(日曜日) 10:00~15:00

イ 里帰り展(会場:展示室)

令和7年1月25日(土曜日)・26日(日曜日) 9:00~17:00

2 ほるたま考古学セミナーについて

(1) 基調報告

加須市長竹遺跡^{ながたけ}のから発見された縄文時代後・晩期^{かんじょうもりつちいこう}の環状盛土遺構をテーマとし、^{たてあなじゅうきよあと}竪穴住居跡、^{ほったてぼしらたても}掘立柱建物跡、墓跡が計画的に配置されていたことや、出土品について、わかりやすく報告・解説します。また、地元の加須市教育委員会から「地形から見る加須の遺跡」の報告を行います。

(2) 記念講演

ア テーマ:「近年の調査からみた縄文時代後・晩期の文化変動」

イ 講師:中村耕作氏(国立歴史民俗博物館准教授)

3 里帰り展について

(1) 概要

長竹遺跡から出土した縄文時代後・晩期の土器や石器、土偶などの土製品や石製品を展示します。長竹遺跡の概要や発掘調査の様子も解説します。

(2) 主な展示品

縄文土器 35点、石器・石製品 52点、土製品 2点、骨製品 4点、装身具 16点、祭祀具 11点 総数 103点

4 参加費・観覧料

いずれも無料

5 申込方法（※ほるとま考古学セミナーは、事前申込制となります。）

電話または電子メールにてお申し込みください

電話：0493-39-5346

E-mail：horutama@saimaibun.or.jp

詳細は、ホームページ、チラシをご覧ください。

※先着順。定員となり次第締め切り。

6 問い合わせ先

公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 資料活用部 担当 山本 靖

電話：0493-39-5339（直通）

0493-39-3955（代表）

E-mail：katsuyou@saimaibun.or.jp

※1「ほるとま考古学セミナー」は、県民の埋蔵文化財に対する理解促進及び、埋蔵文化財調査事業団の業務・役割を理解していただくため、実施している公開セミナーです。

※2「里帰り展」は、公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団が昭和55年（1980）に設立されて以来、45年にわたり発掘調査を行った遺跡の中から注目される遺跡を取り上げ、その遺跡が所在する市町村で開催する出土品展です。

事業団の最新情報は
こちらから！

.....
<https://www.saimaibun.or.jp>

